

働くあなたの身体と心の元気応援マガジン

公益財団法人
REK 福岡労働衛生研究所

いきいき REK

vol.017
Autumn

健康を守るチカラ
「ヘルスリテラシー」

REK健康講座

睡眠時無呼吸症候群とは

アート de 行こう！

作業環境測定士の目
化学物質の自主管理

ここらの広場
管理職とメンタルヘルス

産業医だより
安全衛生委員会を開きましょう

「CTスキャナ」導入のお知らせ



健康を守るチカラ「ヘルスリテラシー」

健康経営を進める際に注目されているのが「ヘルスリテラシー」です。個人の健康保持・増進だけでなく、健康的な企業の組織づくりにも欠かせないといわれるヘルスリテラシーについてひもときましょう。

ご存じですか？ 「ヘルスリテラシー」

「リテラシー」は、もともと「(文字の)読み書き能力」を指す言葉です。「ヘルス」は、「健康」という意味です。

「健康に関する情報を理解し、使える能力」を表します。つまり、(自分にあった) 健康情報を入手し、理解・評価して、活用することで、日常生活におけるヘルスケアや疾病予防について判断し、生活の質や健康を維持・向上させることができる力が「ヘルスリテラシー」です。

現代ではインターネットなどさまざまなメディアに、ありあまるほどの医療・健康情報があふれています。中には、根拠が怪しいものもある

ります。その中から情報の真偽を見極め、自分に必要なものを選択し、自分の生活に上手に取り入れるために「ヘルスリテラシー」を高めることが必要です。

ヘルスリテラシー で何ができる？

ヘルスリテラシーが高いと、健康に関する正しい情報を知つて活用できるので、病気の予防や早期発見ができるなど、自分で自分の健康を守ることができます。逆に低いと、健康に関する関心が低くなり、誤った健康情報に振り回されたり、医療機関を適切に受診できず、健康を悪化させやすいといわれています。

ヘルスリテラシーを高めましょう！

従業員と企業の協力が大切

ヘルスリテラシーを高めるために

「ヘルスリテラシー」には、3つの段階があります。

第1段階「機能的ヘルスリテラシー」は、日常生活における読み書き能力をもとにした、健康や医療に関する情報を理解する力。

第2段階「伝達的ヘルスリテラシー」は、得られた情報をうのみにせず、批判的に吟味し、主体的に活用しようとする力。

これを意識しながらヘルスリテラシーを高める取り組みを始めませんか？



正しい情報かどうかを意識する

インターネットや書籍などで、健康情報を確認するときは、「いつ書かれたのか？」「書いた人は？」「根拠はあるのか？」「比べられる情報はあるか？」などを意識しましょう。



年に一度は健診を受ける

健康診断は、自分の体の状態を確認する大切な機会です。また体重や血圧などを普段から測定し、自分の体の変化を把握するようしましょう。



健康経営の優良法人の認定基準の中にも、「ヘルスリテラシーの向上」のため「管理職又は従業員に対する教育機会の設定」することが評価項目としてあげられています。企業が教育機会をはじめとするさまざまな取り組みを行うことにより、ヘルスリテラシーの高い人材が育ち、社内の活性化や意欲向上につながります。ぜひ、従業員と企業が協力して、ヘルスリテラシーを高めるための取り組みを始めましょう。

健康情報に触れる 機会をつくる

健康に対する関心を高めるためにも、積極的に健康情報にふれる機会をつくりましょう。健康に関するセミナーやワークショップに参加するのもお勧めです。



ヘルスリテラシーを高めましょう！

ヘルスリテラシーで変わる健康ライフ

ヘルスリテラシーが高い人

病気や薬の正しい情報を調べることができる

定期的に健診を受診するなど、自分の健康状態を知ることができる

医師や看護師に上手に相談でき、適切な治療が受けられる

健康的な生活を続けて、健康を維持できるなど

ヘルスリテラシーが低い人

自分の健康に関心が持てず、健康診断や検査をきちんと受けない

病気の自覚症状に気づかない

医師や看護師に、症状などをうまく伝えられない

誤った医療情報に振り回されるなど



健康セミナーの開催

オンデマンド配信し、知識確認のためテストとアンケート調査を行いました。

正しい健康情報の
取得のために

自分の健康を守るためには、健
康や医療に関する正しい情報を入
手し理解して活用する能力が必要
とされる時代です。

健康経営優良法人の認定基準項目にも「1年度に1回以上の健康をテーマとした従業員研修の実施」または「月1回以上の健康をテーマとした情報提供」があげられています。

そこでREKでは、全職員に向けて、生活習慣病予防につながるテーマの「健康セミナー」を実施しました。このセミナーを通じて、正しい健康情報を入手し、適切な健康行動につながることを目指しています。

また、部下のメンタルケアを管理職が積極的に関与できるよう管理職対象のセミナー（ラインケア研修）

も実施しました。

オンラインデマンド配信活用で
高い受講率を達成

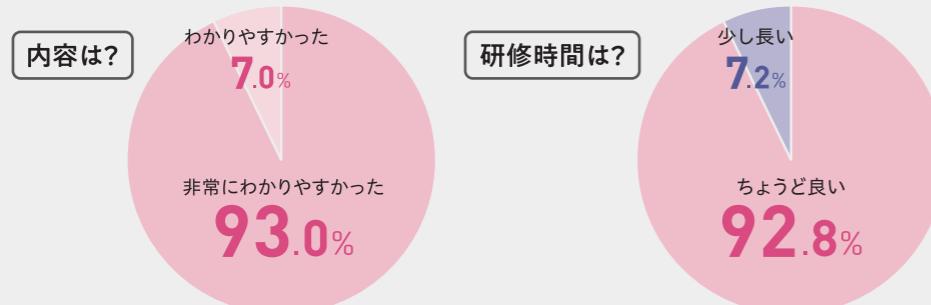
対象者全員の受講を目指して、オンラインデマンド配信での研修を行いました。仕事の合間など、自分のスケジュールに合わせて視聴できるので、「受けやすい」と好評で、高い受講率を達成できました。

血压をテーマとした健康セミナーの担当者からは、「高血圧症に関する情報はたくさんありますが、今回の研修を通して正しい知識の習得と生活改善の動機づけになつたと考へています。職員の反応も良く、次回は糖尿病を予定しています」。

ラインケア研修の担当者は、「オンラインデマンド配信により全員受講ができました。管理職に要求される部下の健康管理についての教育を今後も定期的にセミナーを開催していく予定です」との声が聞かれました。

セミナーレポート2 管理職対象セミナー（ラインケア研修）

「管理職のラインケア」をテーマにした産業医による約30分の講習をインターネットを使用したオンラインデマンド配信しました。管理職を対象に1週間に配信し、受講率100%を達成できました。受講者のアンケートからは、時間が「少し長い」との意見も聞かれました。



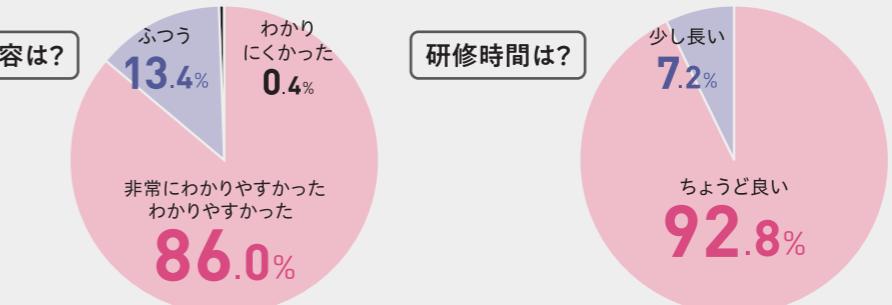
※「少し長い」との回答者の理想的な研修時間 20分

研修内容で活用できる点

- メンタルヘルスの原則について理解することができた。
- 会社は「働く場所」であることを大前提に対応が必要と再認識した。
- 疾患があるかないかではなく、業務に支障があるかどうかに着目すべきであることがわかった。
- 本人の依存心を強くし、職場の雰囲気を悪くする上司が陥りやすいパターンについてわかった。
- 問題として扱う評価ポイントは、安全・勤怠・パフォーマンスの3点であることがわかった。
- 該当者に対して適切な順序で対応することが分かり、大変ためになった。該当者が出ないように部内での風通しを良くし環境作りを目指したい。
- 該当者がいたら、まずは上長との面談が先でいうことがはっきりわかった。人事面談をするときに体調、ストレス等にも気を配り面談したい。

セミナーレポート1 健康セミナー（血压について）

「血压」をテーマにした約8分間のオリジナル動画による健康セミナーをWEB上で実施。正職員・嘱託職員・パート職員を対象に、1週間にオンラインデマンド配信しました。受講者にはアンケートを実施しましたが、9割弱が「わかりやすい」と回答するなど好評でした。



研修内容で活用できる点

- 普段は血压に関して、数値だけを漠然と見ていたが、高血圧が体に与える影響を知ることで、血压の数値を重要視するようになった。
- 診断基準の表を活用することで、自分がどの域に該当するのか分かり、注意喚起も促しやすくなる。
- 研修を通して高血圧になったときの病気のリスクや日本人の平均食塩摂取量が目標値よりも多いことを学んだ。自分の健診結果は正常値だったが、高血圧にならないよう日頃から生活習慣を整えたい。
- 1日の食塩摂取量や飲酒量の目安がわかったので、今後の食事や飲酒のときにはその量を超えないように気を付けようと思った。
- 運動不足は自覚していたので、1日30分以上、週で180分以上という目安がわかつて良かった。
- 喫煙すると血压が上がることを再認識した。喫煙者に教えていきたい。

REKでは、今後も改善を重ねながら、健康情報

の提供と職員の意識向上に努めてまいります。

ヘルスリテラシーの向上を目指し、REKでは健康セミナーやラインケア研修を行いました。
それにちなんで、クイズを出題します！皆さんも考えてみてください！

体と心の健康を考えよう！



メンタルヘルスについて、上司が部下のサポートをするとき、
合っているものはどれでしょう？



- A** 普段から部下をよく観察し、いつもと違う様子に気づけるようにしておく



- B** 本人に直接話をすると傷つけるおそれがあるので、同僚から情報を集めて対応する



- C** 部下からの相談に乗るときは、お酒を飲みながらラックスして話してもらう



ストレス解消法について、正しくないものはどれでしょう？



- A** たばこでのストレス解消はおすすめできない



- B** お酒はストレス解消に役立つことがある



- C** 明日のことは気にせず、運動に熱中するとよりストレスが解消される

正解は

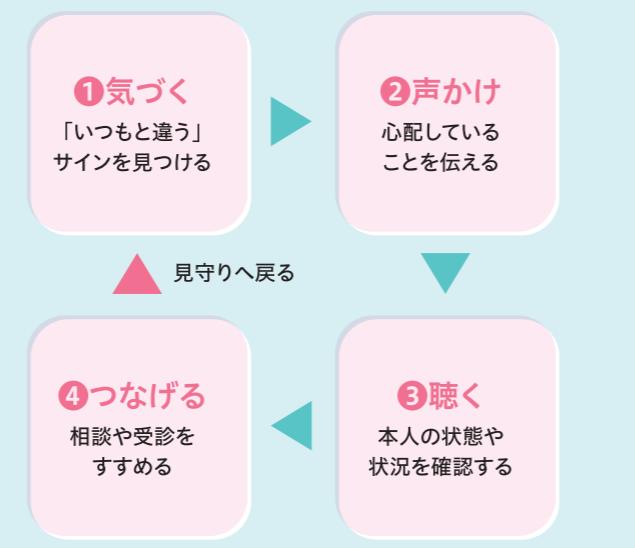
- A** こころの不調は、「いつもと違う」様子に現れます。突然の遅刻・欠勤やミスの増加、対人トラブルなど、「ストレスのサイン」に気づけるように意識しておきましょう。

本人の状態に合わせたサポートが大切

B について 「いつもと違う」ことに気づいたら、本人へ声かけしましょう。話を聞いて、本人の状態や悩みに合わせてサポートすることが大切です。同僚からの情報が役立つこともあります、こころの情報は特に取り扱い注意。本人の不利益にならないように気をつけてください。

C について アルコールは脳に影響するので、お酒を飲むと「普段と違う状態」になってしまいます。本人の状況を正確に話してもらうことが難しくなりますし、「本当は言いたくなかったこと」まで言わせてしまうこともあります。お酒が心身の状態を悪化させることもあるので、相談を受けるときにお酒は厳禁です。

ラインケアの基本ステップを意識しましょう



正解は

- C** ストレス解消になる運動や趣味でも、次の日に影響するほど行ってしまうと逆効果。身体に負担をかけすぎたり、睡眠時間を削ったりしないようにしましょう。

ストレス解消のつもりが逆効果の場合も！？

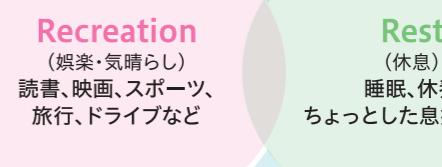
A について 「たばこを吸うとストレスが解消される」と感じるのは、「ニコチン切れのストレス（離脱症状）が和らぐだけ」と言われています。たばこを吸うと、かえってストレスを増やすことになるかもしれません。

B について 適度なお酒にはリラックス効果があると言われています。普段お酒を飲む人が、適正量を守ってお酒を飲むことは、ストレス解消に役立つことがあります。

※ 強いストレスがかかっている時は、アルコール依存に陥る危険があります。お酒は控え、別の方法でストレス解消しましょう。

※ 普段お酒を飲まない人に飲酒を推奨するわけではありません。

「3つのR」をバランスよく行いましょう！



睡眠時無呼吸症候群とは

労衛研健診センター 医師
一木 裕子

はじかこ

睡眠時無呼吸症候群（S A S）は夜中のいびきや日中の強い眠気によるさまざまな社会問題を引き起こすこともある病気です。睡眠障害による影響だけでなく、心臓、肺、脳、その他全身の諸臓器に負担を与え、全身的な合併症が生じます。

今回は、S A Sの大半を占め、無呼吸中にも呼吸努力を伴い、通常いびきが存在する閉塞性睡眠時無呼吸症候群（O S A S）を中心にお話していきます。

10

その他全身の諸臓器に負担を与え、全身的な合併症が生じます。今回は、SASの大半を占め、無呼吸中にも呼吸努力を伴い、通常いびきが存在する閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)を中心にお話ししていきます。

角隅圖二

② 口腔内装置(OA)治療

寝ている間にあごが下がって気道が塞がるのを防ぐために、患者さんの口に合うマウスピースを作つて就寝時に装着する治療法です。

② 口腔內裝置(OA)治療

寝ている間にあごが下がつて気道が塞がるのを防ぐために、患者さんの口に合うマウスピースを作つて就寝時に装着する治療法です。

③ 手術

アデノイド肥大や扁桃肥大が原因で気道が塞がり、睡眠時に呼吸障害が起きている患者さんで、C P A P 療法やO A 治療ができない場合、手

下記の状況で うとうとする可能性は	ほとんどない	少しある	半々くらい	高い
座って何かを読んでいる時 (新聞、雑誌、本、書類など)	0	1	2	3
座ってテレビを見ている時	0	1	2	3
会議、映画館、劇場などで 静かに座っている時	0	1	2	3
乗客として1時間続けて 自動車に乗っている時	0	1	2	3
午後に横になって、 休息をとっている時	0	1	2	3
座って人と話をしている時	0	1	2	3
昼食をとった後(飲酒なし)、 静かに座っている時	0	1	2	3
座って手紙や書類などを 書いている時	0	1	2	3

24点満点のうち11点を超える方はSASの疑いがありますので、外来受診をお勧めします。

日中の眠気についての セルフチェック

以下の場面で、うとうとする(数秒～数分眠ってしまう)かどうか、最近の日常生活を思い浮かべて、あるいはその状況になったときを想像して、当てはまる点数(0・1・2・3)を○で囲み、合計してください。(各項目で○は1つだけ。)

すべての項目にお答えしていただくことが大切です。

下記の状況で うとうとする可能性は	ほとんどない	少しある	半々くらい	高い
座って何かを読んでいる時 (新聞、雑誌、本、書類など)	0	1	2	3
座ってテレビを見ている時	0	1	2	3
会議、映画館、劇場などで 静かに座っている時	0	1	2	3
乗客として1時間続けて 自動車に乗っている時	0	1	2	3
午後に横になって、 休息をとっている時	0	1	2	3
座って人と話をしている時	0	1	2	3
昼食をとった後(飲酒なし)、 静かに座っている時	0	1	2	3
座って手紙や書類などを 書いている時	0	1	2	3

術を行うことがあります。また、鼻づまりが原因でSASになつてゐる場合で薬による治療で効果がない場合には、手術を検討します。

④ 生活習慣の改善

肥満が原因のSASに対しても、CPAP療法などの治療と並行して医師等の指導のもと減量を行います。BMI35以上の高度肥満で、生指指導等による減量が難しい場合は

態や心拍数、酸素飽和度(SPO₂)などを調べます。簡易PSG検査の詳しい検査を行います。入院して医療機関に泊つて行う、終夜睡眠ポリソムノグラフィー検査(PSG)です。

PSGは、病院に一泊し、睡眠中

治療

①持続陽圧呼吸療法(CPAP)
これは、SAS治療の要となる治療法で、鼻に装着したマスクから送り込んだ空気の圧で空気の通り道を確保する治療法です。

減量手術を行なうこともあります。飲酒、喫煙によってSASが悪化することもあるため、禁酒、禁煙が推奨されています。

能性のあるSASですが、CPAP療法によりコントロールは可能です。しかしSASのみが心血管疾患や脳血管疾患のリスク因子ではありますので、肥満の方における減量は重要な治療となります。

日中の強い眠気や家族からのいびき等の指摘を受けられている方は是非一度、お近くの呼吸器内科や耳鼻科へご相談ください。

CPAPを継続して使用することにより、SASに伴う強い疲労感や日中の眠気、集中力や注意力の低下が改善し、それまで取り組む気力のわからなかつた日々の運動や食生活の改善など生活習慣の改善につながり、SAS最大の原因である肥満の解消などにつながるのです。



頻度は女性の2～3倍ですが、年齢の上昇に伴いその差は小さくなります。また、女性では閉経による影響が示唆されています。

診断

本人や家族からの問診でSASの可能性が疑われる場合、まず自宅で簡易PSG検査というスクリーニング検査を行います。携帯型の装置

の脳波、眼球やあごの筋肉の動き、心電図、呼吸の状態、酸素飽和度など多くの項目をモニタリングすることで確定診断を行う検査です。仕事帰りなどに医療機関に行き一泊し、就寝前に身体の必要な部位にテープで電極を貼り付け、寝ている間の脳波や呼吸、眼球、筋肉の動きなどを細かく記録します。

この検査で、1時間あたりの無呼吸低呼吸の回数(AHI)を確認し、SASかどうかを診断します。

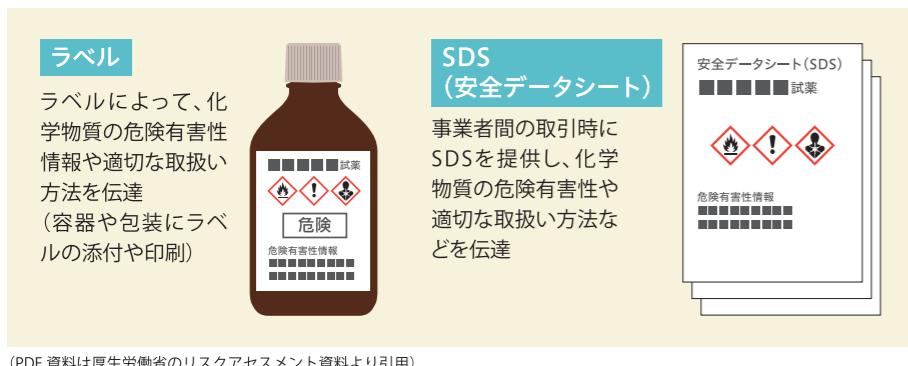
塞がるのを防ぐもので、無呼吸になりやすい状態を根本的に治す治療ではありません。そのため毎日継続的



化学物質の自主管理

令和4年5月に労働安全衛生規則等の一部が改正されました。今回の改正は、化学物質による労働災害を防止することを目的としています。その中から、環境測定に関する内容についてご紹介します。

化学物質の管理に関する法律が改正されました



新たな化学物質規制項目の施行期日				
	規制項目	2022(R4). 5.31(公布日)	2023(R5). 4.1	2024(R6). 4.1
化学物質管理体系の見直し	ラベル表示・通知をしなければならない化学物質の追加			●
	ばく露を最小限にすること(ばく露を濃度基準以下にすること)		●	●
	ばく露低減措置等の意見聴取、記録作成・保存		●	
	皮膚等障害化学物質への直接接触の防止(健康障害を起こすおそれのある物質関係)		●	●
	衛生委員会付議事項の追加		●	
	がん等の遅発性疾病的把握強化		●	
	リスクアセスメント結果等に関わる記録の作成保存		●	
	化学物質労災発生事業場への労働基準監督署長による指示			●
	リスクアセスメントに基づく健康診断の実施・記録作成等			●
	がん原性物質の作業記録の保存	●		●
実施体制の確立	化学物質管理者・保護具着用責任者の選任義務化			
	雇入れ時等教育の拡充			●
	職長等に対する安全衛生教育が必要となる業種の拡大		●	
情報伝達の強化	SDS等による通知方法の柔軟化	●		
	SDS等の「人体に及ぼす作用」の定期確認及び更新		●	
	SDS等による通知事項の追加及び含有量表示の適正化			●
	事業場内別容器保管時の措置の強化		●	
	注文者が必要な措置を講じなければならない設備の範囲の拡大		●	
	管理水準良好事業場の特別規制等適用除外		●	
	特殊健康診断の実施頻度の緩和		●	
	第三管理区分事業場の措置強化			●

(資料: 厚生労働省「労働安全衛生法の新たな化学物質規制 労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令等の概要 (PDF)」)

ント対象物にばく露される程度を、以下の方法などで最小限にとどめるよう義務づけられます。また、その措置の内容に関して記録を作成し、3年間保管しなければなりません。ただし、がん原性のある物質は30年間保管です。

- 代替物等を使用する
- ・発散源を密閉する設備、局所排気装置または全体換気装置を設置し稼働する
- ・作業の方法を改善する
- ・有効な呼吸用保護具を使用する
- ・また、リスクアセスメント対象物以外の物質も、労働者がばく露される程度を最小限度にするよう努めなければなりません。

診断の実施頻度の緩和、⑥第三管理区分事業場の措置強化の6つの項目に分けられます。ここでは、令和5年4月から施行されている環境測定に関する内容について触れていきます。

化学管理体系の見直し

ばく露濃度の低減措置、皮膚等に障害を与える化学物質を扱う際の保護具使用、衛生委員会の付議事項の追加、リスクアセスメントに関する記録などが事業者に義務づけられます。

ばく露濃度の低減措置

事業者は、労働者がリスクアセスメント結果等の記録の作成保存が必要です。

コントロール・バッディングは、有害性のある化学物質から労働者の健康を保護するために開発した化学物質の管理手法です。液体・粉体作業用と主に粉じん則に定める粉じん作業用の2つのシステムがあります。有害

者には、適切な保護具を使用させなければなりません。また、上記以外の健康障害を引き起こす可能性がある化学物質にあっても保護具の着用が努力義務となっています。

リスクアセスメントについて

リスクアセスメント結果とその結果に基づく健康障害防止措置に関する記録の作成、労働者への周知、次のリスクアセスメント実施までの期間(最低3年間)の保存が必要です。

リスクアセスメント対象物のうち、がん原性物質を製造、取り扱う業務を行わせる場合は、その業務の歴史の記録が必要です。(30年間保管)

管理水準良好事業場の特別規則等適用除外

性情報があれば、ばく露濃度等を測定しなくても使用が可能です。

クリエイト・シンプルは、ばく露限界値と化学物質の取り扱い条件から推定したばく露濃度を比較する方法です。大量の化学物質取扱事業者から極少量の化学物質を取扱う事業者まで、業種を問わず幅広い事業者が使用可能です。

化学物質管理の水準が一定以上であると所轄都道府県労働局長が認定した事業場は、その認定に関する特別規則について個別規制の適用を

除外し、特別規則の適用物質の管理を、事業者による自律的な管理に委ねることができます。

特殊健康診断の実施頻度の緩和

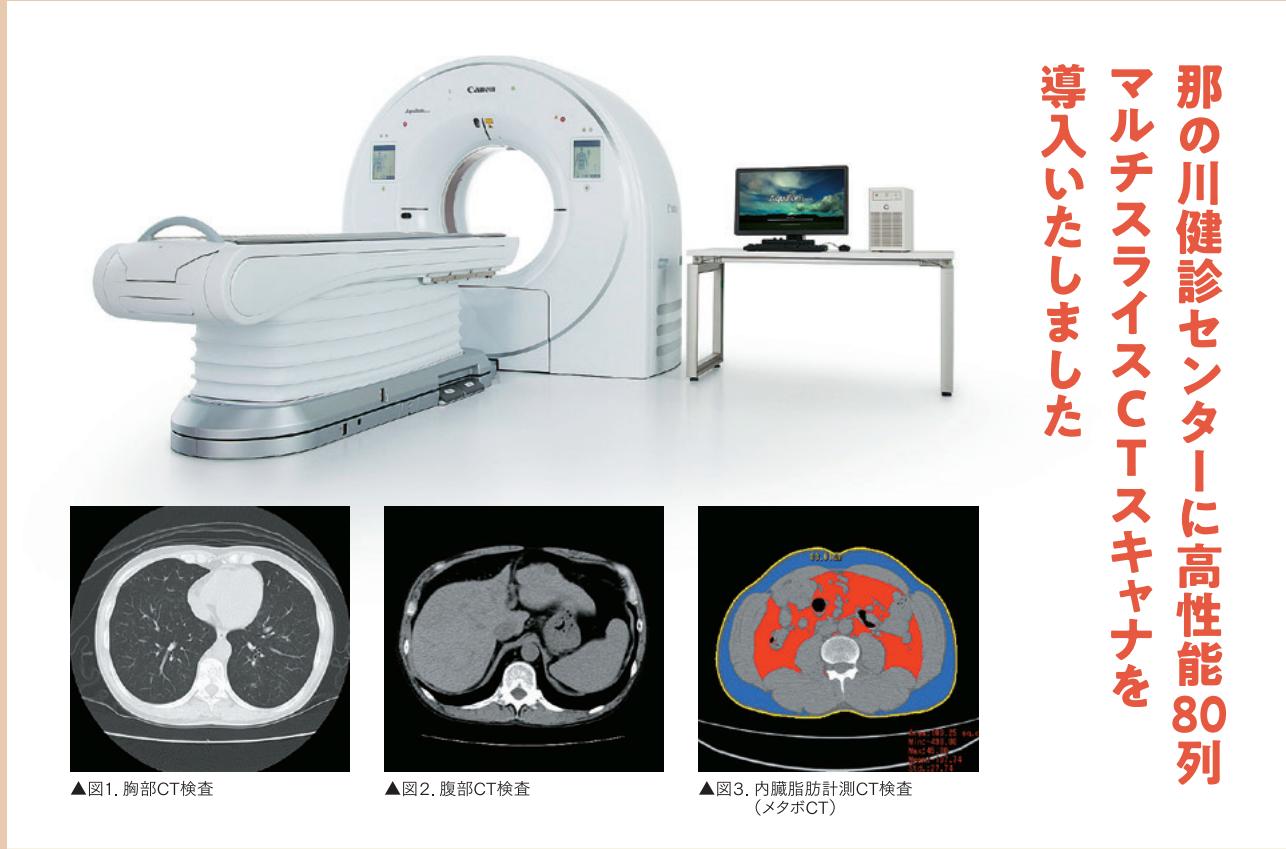
有機溶剤、特定化学物質(特別管理物質等を除く)、鉛、四アルキル鉛に関する特殊健康診断の実施頻度について、作業環境管理やばく露防止対策等が適切に実施されている場合には、事業者は、半年以内に1回から1年以内ごとに1回に緩和できます。

リスクアセスメントの手法には、コントロール・バッディングやクリエイト・シンプルがあります。厚生労働省作成のツールには、右記のほかにさまざまな手法がありますが、手法によって利用できない作業や必要な情報が異なる場合がありますので注意

リスクを把握し、適切な管理を行う方法として、作業環境測定があげられます。

今年度から化学物質に関する規制が増えています。労働者の健康を守るために、化学物質について正しい知識を持つことが必要とされています。

がん原性のある物質は30年間



那の川健診センターに高性能80列 マルチスライスCTスキャナを 導入いたしました

低線量・高画質・高速撮影

今回導入した装置は最新のAI技術を搭載しており、従来に比べて大幅に線量を低減しつつ、高画質で精度の高い検査を実施することが可能です。撮影時間も大幅に短縮され、胸部撮影では5秒程度の息止め時間で撮影が可能で、受診者さまの負担も軽減しています。

安全で質の高いCT検査を受診されることをお勧めいたします。

各種検査のご案内

■ 胸部CT検査(図1)

部位別の死亡数が最も多い肺がんの発見に非常に有用です。自覚症状がなく、胸部X線では発見が難しい早期がんに対しても威力を発揮します。

■ 腹部CT検査(図2)

腹部全体を網羅的に観察でき、肝臓や脾臓などの悪性腫瘍

瘍、腎結石、大動脈などの石灰化、肝のう胞、腎のう胞、脂肪肝などの発見に有用です。ただし、当施設では造影剤を使用しませんので、造影CTに比べて描出が困難な病変があります。

■ 内臓脂肪計測CT検査(図3)

おへそ辺りのCT像を解析し、内臓脂肪量と皮下脂肪量を計測する検査です。メタボ診断の検査法としては、最も正確な検査となります。

個人オプション (全て税込価格)

肺がんCT(胸部)	8,800円
腹部CT	8,800円
メタボCT(内臓脂肪計測)	2,640円
胸・腹部セットCT	16,500円
腹部・メタボセットCT	11,000円
胸・腹部・メタボセットCT	18,480円

編集後記

いきいきREKは、今号から新コーナーが加わりました。役立つ健康情報をお届けするとともに、ちょっとした息抜きや気分転換にも読んでいただけるような冊子を目指して作成していきます。楽しんでいただけましたら幸いです。（つきえ）

「ほらね、だから言ったでしょう」と子どもから言われました（+_+）。つまり、私が普段言っている言葉ということです。ついつい、子どもが危ない

ことをする時に心配してあれこれ言ってしまいます。そして失敗してしまった時にあの言葉を…。改めて聞くとあまり良い言葉ではありませんね。失敗を恐れず、チャレンジする子どもには「失敗しちゃったけど頑張ったね」と言えるように心に余裕を持とうと思いました。（はまち）

暑い日々が続き、熱中症に関するニュースを日々目にしています。熱中症の対策は、屋外作

業の時だけでなく、屋内で作業をしているときもこまめな水分補給や塩分補給が大切になります。平日はこまめな補給をこころがけていますが、休日は補給をさぼりがちになってしまいますことが多いです。今年こそは、休日も時間を決めて水分や塩分をとるようにして熱中症予防をしていきたいと思います。（M）